



城猶鴻鵠

発行 稲城市体育協会
電話 0423(78)2111
内線(620)
編集 稲城市体育協会
広報委員会
発行日 昭和58年9月1日
年月日 第13号



苦しみから生れた正夢

サッカー選抜チーム監督
福島栄治

福島栄治

選手の皆さん、おめでとう。長い間皆さんとともに練習に励んでまいりましたが、おかげ様で体育協会はじまって以来の快挙、優勝という素晴らしい成果を勝ち得てまいりました。

夢にしてくれたわけです。こんな事を言つと選手の皆さんに叱られるかもしれません、実を言つて、今大会は一回戦さえ敗けなければ良いと思っておりました。その背景には練習不足とグランド難によつてつまらない事をよく出来たものだと私自身おどろいてる次第です。これは少年、中学、一般の全体会によるチームワークの勝利だと確信しております。

最後に弱小チームを相手に練習

とは間違つても言えません。昨年は私自身は優勝を密かにねらってはいたのですがやはり夢でした。ところが今大会では乍年の夢を正しく思います。弱小サッカー連盟が初めて多摩川を越えて稲城の地に持つてこられたことを大変嬉しく申し上げる次第です。

大殊勲

優勝旗がわが稻城へ

都民大会で堂々優勝 サッカー選抜チーム



松浦里行氏

体育功劳賞受賞を祝つて

體育協會久長 石黒 実

福井市体育協会理事長 松浦里
行さんが、昭和五十八年度体育功
労者として、東京都体育協会へ

松浦さんに体育協会発足以来
理事、事務局長としてその運営

の長年の努力が実を結んだと言つても過言ではありません。

行さんが、昭和五十八年度体育功労者として、東京都体育協会より表彰されました。

この賞は地域社会の体育スポー
ツの指導者として、社会体育の振
興普及に貢献された者に送られる
もので、厳しい審査を経て決まる
ものであり、体育関係者にとって
大変価値ある賞です。

この名譽ある受賞者は福島市の中

理事、事務局長としてその運営、市民スポーツ振興のため努力を続けてきました。現在は理事として活躍中であります。サッカー連盟育ての親として大名高く、連盟結成以来理事、会として若き者の指導にあたり、多くの若者から親しまれ、頼りにされております。

ても過言ではありません。
この度の松浦さんの受賞は当然
であると思います。

都民体育大会結果

五月二十一日から六月五日にかけて行われた第三十六回都民体育大会へ、当市からは、選手・役員二〇名が参加をし、各競技熱戦が展開され好試合が続きました。
中でもサッカー競技の部においては、昨年三位という実績もあって、今大会へ挑む姿勢は昨年にないものがみられた。その意気込みが競技で發揮され見事意願の優勝を勝取ることができました。
結果は次のとおりです。
第三十六回都民体育大会春季大會競技成績
※サッカー競技の部
一回戦 対北区 1対2 (女子)
二回戦 対北区 1対2 (女子)
一回戦 対武蔵野市 2対3 (女子)
二回戦 対武蔵野市 2対3 (男子)
一回戦 対武蔵村山市 3対0 (女子)
二回戦 対武蔵村山市 3対0 (男子)
※ソフトボール競技の部 (男子)
一回戦 対西多摩郡 2対1
二回戦 対足立区 1対2
三回戦 対足立区 1対2
※バドミントン競技の部 (男子)
一回戦 対田無市 2対1
二回戦 対田無市 2対1
三回戦 対青梅市 0対7
※ソフトボール競技の部 (女子)
一回戦 対中野区 7対5
二回戦 対杉並区 11対5
三回戦 対杉並区 11対5
※剣道競技の部
一回戦 対町田市 1対2 (女子)
二回戦 対町田市 1対2 (男子)
三回戦 対武蔵野市 0対3
※クレー射撃
一回戦 対大田区 0対10 (女子)
二回戦 対大田区 0対10 (男子)
※馬術競技の部 入賞果せず(着外)
※バスケットボール競技の部
四回戦 対港 区 3対0
一回戦 対大田区 2対1
決勝戦 対大田区 2対0

